

平成23年度

十勝シーニックバイウェイ

トカプチ雄大空間ルート活動報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況
2. 活動団体の活動状況及び課題
3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題
4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題
5. 平成22年度活動報告への助言に対する状況報告

1. ルート運営活動計画の進捗状況

ルート名称: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート	報告者: 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間代表 野村 文吾	2012/3/31
---------------------------------	------------------------------------	-----------

	ルート(エリア)運営活動計画方針	ルート(エリア)運営活動計画活動内容	No	活動名	主催	活動実施日	参加人数	活動状況 資料番号	総括
観光	陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本に有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスイーツについて学び、ライフコンシェルジュの育成と女性プロジェクトを実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れる。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行う。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていく。	連携・体験事業	1	トカプチめぐり券	トカプチ雄大空間	平成23年7月1日～ 年11月30日	主催:30人程度 一般:330枚	A - 2	チケットの販売箇所を広げたことで、販売枚数増と周知が図られた。販売先から、もう少し枚数を増やしたいという要望があったことから、来年度は販売枚数の増加と、よりお得で利用しやすい内容について検討する予定。
		連携・体験事業	2	ばんえい十勝 花火見学&モニターツアー	トカプチ雄大空間	平成23年10月29日	主催:15人程度 一般:48人	—	道央圏をターゲットとしてルート内の施設を巡るツアーを実施。ライフコンシェルジュのおもてなし、地域のイベントと連携することで、トカプチの新しい着地型観光の検討ができた。
		連携・体験事業	3	QRコードラリー トカプチクーポンブック	トカプチ雄大空間	平成23年7月30日～ 11月30日	主催:40人程度 一般:120人登録 クーポン利用1199件	—	今年度は夏のオンシーズンから開始。ルート内施設で利用できるお得な「お楽しみクーポン」の利用者も多いことから、来年度も同様の内容で継続して実施する予定。
		発信事業・プロモーション事業	4	プロモーション活動 (とかちマルシェ、さっぽろオータムフェスト、菜の花サミット、とかちばん馬まつり、まんぶくフェスタなど)	トカプチ雄大空間	平成23年9月～11月	主催:30人(各イベントでPR) 一般:各イベント500人以上	—	今年度は道東道タ張IC～占冠IC開通に向け、札幌などの道央圏での積極的なPR事業を行った。各イベントでのPR事業は今後も実施していく予定である。
		癒とリフェスタ事業	5	ライフコンシェルジュ育成事業	トカプチ雄大空間	平成23年6月～11月	主催:延べ10人程度 一般:延べ30人程度	A - 3	十勝の魅力・生活の楽しさを伝える「ライフコンシェルジュ」の育成事業は、今後も継続して実施する。 また、活動の場を広げるため、現在のイベントでのPR等に加え、観光インフォメーションセンターでの案内を実施したい。
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	3ルート連携事業	6	シーニックカフェスタンプラリー	十勝シーニックバイウェイ	平成23年7月15日～ 平成23年9月30日	主催:15人程度 一般:応募54人、完走16人	—	少しずつ周知がなされ楽しみにしている参加者も増えてきた。応募の際に寄せられた意見などを検討し、来年度以降も内容を充実させ実施する予定。
地域づくり	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	癒とリフェスタ事業	7	癒とリフェスタ	トカプチ雄大空間	平成23年6月～11月	全体事業で 主催:延べ100人以上 一般:延べ1,000人程度	A - 1	今年度は、道東道タ張IC～占冠ICの開通に向けたPRを強化するため、十勝管内の関係機関やルート内のメンバーとの連携を図り、地域一丸となって十勝の魅力をPRすることができた。来年度は、活動を道外へと広げ実施していく予定。
		3ルート連携事業	8	釧路視察(研修会) 連携フォーラム	十勝シーニックバイウェイ	平成23年8月30、31日 平成23年10月2日	35人参加(釧路ルート含む) 主催:40人程度 一般:100人以上	—	会場を屋外にしたことにより、十勝らしい自然を感じながら実施することができた。参加者からも好評であった。また、道の駅の敷地内で実施したため、フォーラム参加者以外にもPRができた。 研修会は、釧路ルートとの連携で実施した。来年度はカフェ連携を行いたい等、有意義な意見交換が出来た。
環境	エコに関する啓蒙の推進、ゴミの削減による環境美化、カーボンオフセットの推進による環境の改善など、環境モデル都市・エリア実践のための連携を強化し、環境に関わる新産業による就業人口や移住・定住人口の増加を目指す。	3ルート連携事業	9	十勝シーニックバイウェイ連携事業 :イエローリボンプロジェクト	とかちイエローリボンプロジェクト実行委員会	平成23年6月～11月	主催:20人程度 一般:100人程度	—	低炭素社会の推進、地域への取り組みの周知、観光振興事業として、引き続き取り組みを進めていく。

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート

A-1



活動名：とがち癒とりフェスタ事業

【概 要】

「とがち癒とりフェスタ（通称：癒とりスタ）」は、地域の資源（観光・環境・健康）を「癒し」というキーワードで束ね、メインとして集客型の販路開拓および普及をおこなう活動である。地元住民が地元の魅力を再認識し、来訪者に対して「ライフコンシェルジュ」として十勝の暮らしぶりをお伝えすることが「究極の癒し」ととらえ、「人が人を癒す」おもてなしスタイルを構築することを最大の目的として実施。トカプチ雄大空間は実行委員会の一員として先導的に事業を行った。昨年からの3カ年計画の事業で、今年度は道央圏を中心にプロモーション活動を実施。

【日 時】平成23年6月～11月（以下の主な事業の実施期間）

【場 所】帯広市・道央圏を中心に各事業を実施

【主 催】帯広商工会議所とがち癒とりフェスタ実行委員会（トカプチ雄大空間が中心となり実施）

【参加人数】全体事業で 一般参加：延べ1,000人程度 主催者：延べ100人以上

【主な事業内容】

- ・実行委員会の開催・運営
- ・ライフコンシェルジュの育成とおもてなしの実践

＜参加イベント＞

- さっぽろオータムフェスト2011（9月）、とがちばん馬まつり（10月）、道新花火大会&秋化祭（10月）、道東道開通記念 十勝平原SAイベント（10月）、オール十勝まんぷくフェスタ2011（11月）などに派遣
- ・プロモーション事業（テレビCM、新聞掲載、ラジオ出演、イベント参加など）



さっぽろオータムフェスト2011



十勝平原SAイベント



道新花火大会



Tokapuchi 「食」と「癒し」で大地をつなぐ
十勝シーニックバイウェイ
トカプチ雄大空間

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート

A-2

活動名：トカプチめぐり券 ～十勝中央部の見所＆おいしいものをいっぺんに楽しもう♪～

【概要】 トカプチ雄大空間内の施設をお得にめぐるチケットを販売。施設間連携の取り組みにより、施設としては単独PRよりも効果的な広報が可能となり、トカプチ雄大空間の魅力をより広く周知することができた。

【日時】 2011（平成23）年7月1日（金）～11月30日（水）

【場所】 トカプチ雄大空間エリア

【主催】 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

【参加人数】 販売枚数：330枚（一般販売） 主催者：30人程度

No. 000000

Tokapuchi 十勝シーニックバイウェイ
トカプチ雄大空間
十勝中央部の見どころ＆おいしいものをいっぺんに楽しもう♪

トカプチめぐり券

■左記期間のみ有効。
■切り離し可能。また、共通券の
返金はいたしません。

実売期間/平成23年
7月1日～
11月30日

利用可能施設18ヶ所、
総額約2,100円のサービス
1,000円

各施設アクセス
営業時間はこちら

QRコード

http://t-aoisic.com/m/maguri.html

ばんえい十勝特別入場券
通常100円のところ
1名特別料で入場

入場/温泉券
1名1,000円で施設1日入場
または温泉1日入場できます

ドリンク/フード券
対象ドリンクまたはフード
1品サービス

トカプチめぐり券の使い方

※営業期間・営業時間は各施設にお問い合わせください。
「トカプチめぐり券」は、十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間のルートにある下記の施設でご利用できます。
ばんえい十勝特別入場券の他、入場/温泉いすれか1回、ドリンク/フードはいすれか2回楽しむことができます。

入場/温泉券対応施設	ドリンク/フード券対応施設
真鍋庭園 お一人様ご入場 0155-48-2120	北の屋台 ビール1杯 0155-23-8194
紫竹ガーデン遊園 お一人様ご入場 0155-80-2377	新嵐山レストラン ビール1杯 0155-85-2121
十勝ヒルズ お一人様ご入場 0155-89-1111	焼肉KAGURA ハーフ割（飲み物1杯と3割1杯） 0155-82-8929
帯広百年記念館 お一人様ご入場 0155-24-6352	焼肉すず喜 カルビ1人前 0155-61-3370
帯広動物園 お一人様ご入場 0155-24-2437	まきばの家 プランチ（飲み物1杯） 0155-572-8000
帯井ホテル お一人様ご入場 0155-46-2211	柳月スイートピアガーデン 月おろし（飲み物2杯） 0155-22-3366
第一ホテル お一人様ご入場 0155-46-2231	エスタ東館物産コーナー おたけおかし 1個 0155-22-7666
ホテル大平原 お一人様ご入場 0155-46-2121	道の駅ステラ★ほんべつ キレイマメ1個 0156-22-5819
観月苑 お一人様ご入場 0155-46-2001	

お問い合わせ：十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間
事務局/帯広工場事務所 帯村（のむら）木下（きのした）
〒080-8711 帯広市西3条南9丁目 電話：0155-25-7121（月～金）9:00～17:00（土日祝休業）E-mail: info@occi.or.jp

Tokapuchi 十勝シーニックバイウェイ
トカプチ雄大空間
十勝中央部の見どころ＆おいしいものをいっぺんに楽しもう♪

トカプチめぐり券

利用可能施設18ヶ所、
総額約2,100円のサービス
1枚 **1,000円**

実売期間/平成23年
7月1日～11月30日

「トカプチめぐり券」は、十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間の
ルート上の下記施設で利用できます。また、ばんえい十勝特別入場券の他、
入場/温泉いすれか1回、ドリンク/フードはいすれか2回楽しむことができます。

入場/温泉券 対応施設	ドリンク/フード券 対応施設
真鍋庭園（帯広市） お一人様ご入場	ばんえい十勝（帯広市） 1名特別料で入場
紫竹ガーデン遊園（帯広市） お一人様ご入場	北の屋台（帯広市） ビール1杯
十勝ヒルズ（帯広市） お一人様ご入場	新嵐山レストラン（帯広市） ビール1杯
帯広百年記念館（帯広市） お一人様ご入場	焼肉KAGURA（帯広市） ハーフ割（飲み物1杯と3割1杯）
帯広動物園（帯広市） お一人様ご入場	焼肉すず喜（帯広市） カルビ1人前
帯井ホテル（帯広市） お一人様ご入場	まきばの家（帯広市） ランチ（飲み物1杯）
第一ホテル（帯広市） お一人様ご入場	柳月スイートピアガーデン（帯広市） 月おろし（飲み物2杯）
ホテル大平原（帯広市） お一人様ご入場	エスタ東館物産コーナー（帯広市） おたけおかし1個
観月苑（帯広市） お一人様ご入場	道の駅ステラ★ほんべつ（帯広市） キレイマメ1個

各施設について
詳細はこちら
http://t-aoisic.com/m/maguri.html

【入場/温泉県対応施設】 【ドリンク/フード対応施設】

- 真鍋庭園
- 紫竹ガーデン
- 十勝ヒルズ
- 帯広百年記念館
- 帯広動物園
- 帯井ホテル
- 第一ホテル
- ホテル大平原
- 観月苑
- 北の屋台
- 新嵐山レストラン
- 焼肉KAGURA
- 焼肉すず喜
- まきばの家
- 柳月スイートピアガーデン
- エスタ東館物産コーナー
- 道の駅ステラ★ほんべつ

販売箇所は、ホテル・参加施設・観光協会など36箇所。

十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート

A-3

活動名：ライフコンシェルジュ育成事業

【概要】十勝の魅力的な「観光」「環境」「健康」を「癒し」というテーマで観光客の皆さまに広くお伝えするために、「癒とりフェスタ」事業内で、地元住民によるボランティアガイドを育成。「人」が「人」を癒すをテーマに人材育成やイベントでの活動を行っている。

【実施期間】2011年6月～2011年11月

【ライフコンシェルジュ】ライフコンシェルジュ：延べ30人程度 / 主催者：延べ10人程度

【実施団体】トカプチ雄大空間

LIFE+CONCIERGE 十勝の魅力・生活の楽しみ方を伝える人

ご当地風土アドバイザー



ライフコンシェルジュによるご当地PR
(さっぽろオータムフェスタ2011)



地域の魅力は「生活」と「人」にある！

地元の豊かさを自ら感じ楽しむ

地元の生活スタイルを伝える

親まれ親身になれる人間性

ひと＝癒し

ライフコンシェルジュとは

3. ルート運営活動計画の推進体制の状況及び課題

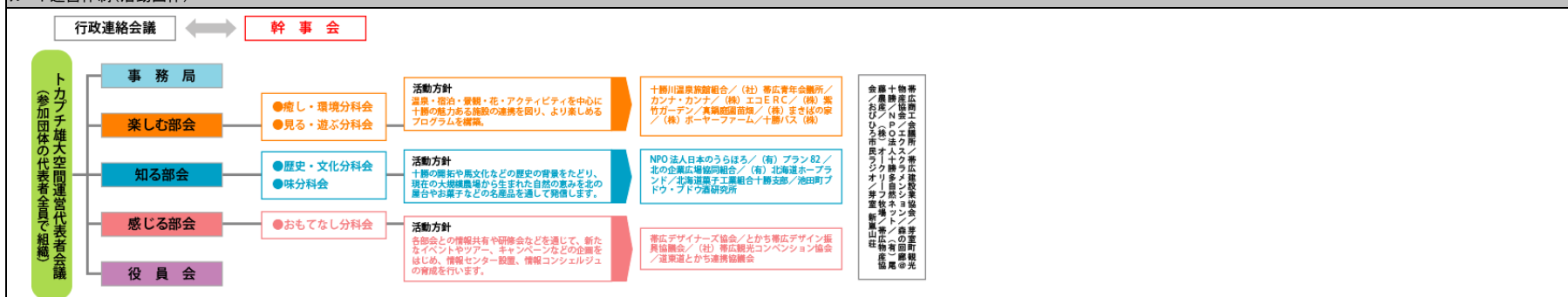
ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート	報告者:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート代表 野村 文吾	報告年月:2012/3/31
--------------------------------	--------------------------------------	----------------

活動団体

十勝バス協、紫竹ガーデン遊華、真鍋庭園苗畑、北の起業広場協同組合、(有)プラン82、帯広デザイナーズ協会、とから帯広デザイン振興協議会、帯広建設業協会(地域振興対策委員会)、カナナ、カナナ、NPO法人十勝多自然ネット、エクスプレメーション、森の回廊①十勝、NPO法人あうるず、北海道菓子工業組合帯広支部、(社)帯広観光コンベンション協会、池田町ブドウ・ブドウ酒研究所、十勝川温泉旅館組合、道東道とから連携協議会、芽室町観光物産協会、帯広物産協会、(株)北海道ホランド、(株)まきばの家、(有)ボーヤ・ファーム、(社)帯広青年会議所、帯広商工会議所、(株)オークリーフ牧場、(有)尾藤農産、(株)エコERC、おびひろ市民ラジオ(FM-WING)、十勝ヒルズ、とからむら、芽室町新嵐山荘、ステラ

★本別 道の駅、(有)チューニングガム、(社)ばいんえい韓馬馬チーム、(株)道の駅うらほろ直売会、(有)レウス

ルート運営体制(活動団体)



	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	ルート運営代表者会議	● 4/25				● 8/5						● 2/3		
	事務局・幹事会 打合せ	原則、毎週水曜日に開催。(水曜日に開催できない場合は、振り替え)												
	役員会									● 12/8				
	3ルート連携代表者会議	● 4/13	●5/10(代表のみ)	● 6/20		● 8/4			● 11/7	● 12/15			●3/12(代表のみ)	

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間ルート	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2012/3/31
--------------------------------	-------------	----------------

	基本方針	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
	行政連絡会議の実施		● 5/23				● 9/8		● 11/21(担当者)		● 1/30			

4. ルート運営行政連絡会議の取組状況及び課題

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間			報告者:帯広開発建設部		報告年月:2012/3/31		
	ルート(エリア)運営活動計画方針	平成23年度の活動内容	活動実施日	実施機関	成果及び課題	総括	活動No
観光	陸・水・空・時の四次元ルートを完成させ、日本で有数の観光客を集客するために、基本となる十勝人の歴史や十勝のスイーツについて学び、ライフコンシェルジュの育成と女性プロジェクトを実践し、ルートの地域資源発掘に力を入れる。そして、これらを基に魅力あるモデルルートを設定し、新しいメディアを活用して広く情報発信を行う。更に、地域住民と観光客との双方向コミュニケーションを充実させていく。	十勝シーニックバイウェイ共通案内標識の検討・設置	平成22年12月～実施中	自治体 帯広開発建設部	道路利用者への案内機能の向上を目的に、十勝シーニックバイウェイと自治体、帯広開発建設部が共通の案内標識に向け、設置箇所やデザインの検討を行った。 この結果をもとに、各道路管理者が分担して案内標識を設置した。 今後は、追加設置箇所の検討と設置に向けた取り組みを行う。	行政機関がSBWと連携して、効果をあげる取り組みが増えている。 このため、今後もSBWとの連携を強化し、広域での取り組みを進めていく必要がある。	1
		道の駅との連携	平成23年7月～実施中	道の駅 自治体 帯広開発建設部	道の駅との連携強化を図るため各道の駅に帯広開発建設部が主体となって、「十勝よりみちインフォメーションボード」を設置し、地域おすすめ情報をタイムリーに発信した。 今後は、近隣地域の情報把握も行い、利用者ニーズに応じ提供情報を複数用意できるように進めていきたい。		2
景観	五感と感動で楽しむ場所を提供するため、美しい景観の発掘と、景観阻害要因となる看板の撤去等の整備、雄大な景観デッキの整備、年間を通して豊かな時間を過ごすカフェの整備を進める。また、十勝シーニックバイウェイ3ルートが連携し、巡る楽しみを創出する。	とかちイエローリボンプロジェクト	平成23年6月～11月	自治体 商工会 帯広開発建設部	各自治体、商工会、帯広開発建設部で、ひまわり植栽に向けて実施箇所検討及び種植え・刈り取り・種回収等に積極的に参加した。開花時期には旅行者が写真撮影を行う風景が見られ、地域の景観向上に効果があがっている。 今後は、実施箇所の更なる拡大と、子どもの参加者が増加するよう検討を行う必要がある。		3
地域づくり	道外、国外に対して、観光・食・アクティビティ・環境などの情報を、自信を持って発信できる地域づくりを行う。そのために、ホスピタリティを向上させ、組織・団体の活動を活性化させるなど、地域間競争に打ち勝つための情報共有や地域住民との連携強化による人づくり・街づくりを推進する。さらに、それらを生かした十勝型産業の開発を目指す。	「十勝シーニックバイウェイ実務者のためのQ&A集」作成	平成23年11月	行政連絡会議 各団体	帯広開発建設部が主体となって、十勝シーニックバイウェイ参加団体の実務担当者に向け、SBWとは何か、SBWの活動内容・効果等をわかりやすく説明するQ&A集を作成した。 今後は、特にSBWへの参加効果充実に向け、各機関で把握している効果の集約を行いたい。		4
		十勝シーニックバイウェイ連携フォーラム	平成23年10月2日	自治体 商工会 帯広開発建設部	十勝シーニックバイウェイ3ルートが主体となり、自治体や商工会、帯広開発建設部とともに連携強化に向けたフォーラムを実施した。今年は、道の駅なかさつないを会場とし、帯広開発建設部と十勝SBWとで道の駅と調整を行いながら、十勝の食についての基調講演、地域の特産品を持ち寄った交流会等を行った。一般向けの内容とし道の駅で開催したため、一般者の参加もありSBWの活動をPRすることができた。 今後は、さらに一般者の参加増加に向け会場や開催日時の検討を行っていきたい。		5

5. 平成22年度活動報告への助言に対する状況報告

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間 代表 野村 文吾	報告年月:2012/3/31
-----------------------------	------------------------------------	----------------

平成22年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考
シーニックバイウェイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。 特に、本格実施から6年が経過し指定ルートも拡大、地域特性に応じた多種多様な成功事例や、課題等も明確になってきていることから、それらを共有しシーニックバイウェイ北海道をさらに活性化させる方策を検討されたい。	○情報発信やPR活動、人材育成について 昨年度から実施している「とかち癒(ゆ)とりフェスタ」事業では、昨年度(1年目)「十勝管内対象」、本年度(2年目)「道央圏対象」、来年度(3年目)「首都圏対象」の3年計画で、十勝の魅力を中心に、シーニックバイウェイやその活動についてPRや情報発信を行っている。また、癒とりフェスタ事業では、昨年度から実施している「ライフコンシェルジュ」の育成を続けており、「人が人を癒す」をテーマに、今年度も管外・管内の関連のイベントにてライフコンシェルジュによる「おもてなし」や情報発信、PR活動を行った。 また、10月29日の道東道タ張IC～占冠IC間開通に向け、道央圏からの観光客増加を目指してモニターツアーを実施した。このツアーでは、地域の魅力を体感していただくためのプログラムとして、地元観光施設やイベントなどとの連携、現地ではライフコンシェルジュの「おもてなし」でお迎えするという内容とした。この結果をもとに、地域と連携して観光客のニーズに合った着地型観光コースの検討や地域の魅力向上を図りたいと考えている。更に、トカプチ雄大空間では、ルート内の各施設のサービスをお得に利用できるチケット「トカプチめぐり券」を販売しており、この「めぐり券」も活用しながら進めていきたいと考えている。 ○近隣ルートとの連携 毎年実施している十勝シーニックバイウェイ研修会では、今年度は「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ」ルートの協力で阿寒・弟子屈地域の視察とルート団体との意見交換会を行った。お互いの活動内容や課題などについて情報交換を行い、広域連携で活動を活性化させていくことを検討。来年度は、釧路ルートとの連携で「シーニックカフェ」を活用した連携を検討していく予定である。	

ルート名称:十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間	報告者:帯広開発建設部	報告年月:2012/3/31
-----------------------------	-------------	----------------

平成22年度活動報告への助言	平成23年度 状況報告	備考
シーニックバイウェイ北海道の持続的推進を図るため、引き続き情報発信やPR活動等によるブランドの形成、地域への浸透に努めるとともに、地域ビジネスの展開、人材育成等によるルート活動の基盤強化や幅広い関係機関による支援体制の強化に取り組まれない。 特に、本格実施から6年が経過し指定ルートも拡大、地域特性に応じた多種多様な成功事例や、課題等も明確になってきていることから、それらを共有しシーニックバイウェイ北海道をさらに活性化させる方策を検討されたい。	○情報発信やPR活動、人材育成について 情報発信やPR活動においては、道東道タ張IC～占冠IC開通による来訪者の増加に向け、地域の他団体と連携し十勝の魅力を伝えるPR活動を十勝管内、道央圏で積極的に行った。10月29日の開通後は十勝を訪れる人が増えており、活動の効果が現れたといえる。 また、人材育成においてはご当地風土アドバイザー「ライフコンシェルジュ」の育成に力を入れ、イベント等でのガイドを実践している。今後は、観光インフォメーションでの案内業務等にも取り組む予定であり、今後の更なる活動が期待される。 ○近隣ルートとの連携 近隣ルートとの連携では、十勝シーニックバイウェイ3ルートで取り組んでいる、とかちイエローリボンプロジェクト、連携フォーラム、シーニックカフェスタンプラリー、合同研修会を行った。この内、とかちイエローリボンプロジェクトでは取り組み地域の拡大、連携フォーラムでは一般者の参加拡大、シーニックカフェスタンプラリーでは参加者の拡大の成果がみられた。 合同研修会は、「釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ」を訪れ、各ルートの活動内容や課題について議論し、その中で両地域で開催しているシーニックカフェスタンプラリーの連携等の意見が出た。今後、実現に向けた展開が期待される。	